

新型コロナウイルス感染症 対策について

令和3年3月12日

神戸市保健所予防衛生課

清水 真由美



新型コロナウイルス感染症とは

「新型コロナウイルス」は風邪様症状を引き起こすコロナウイルスのひとつです。

発症すると、発熱、咳、全身倦怠感等の風邪様症状が出現します（様々な症状が出現します）。発病しても約8割は軽症で経過し治ります。（無症状のうちに治る人もいます）

一部のものは、主に5~14日間で呼吸困難等の症状が現れ、肺炎になる場合があります。高齢者および基礎疾患がある方においては、重症化するリスクが一定あるとされています。



潜伏期間と感染可能期間

①潜伏期間

1～14日（平均は約5日） ※WHO 情報より

※感染の可能性（患者との濃厚接触）があった最終日から、2週間は発熱や風邪様症状の出現に注意し、不要不急の外出を控え、自宅で過ごします。

②感染可能期間

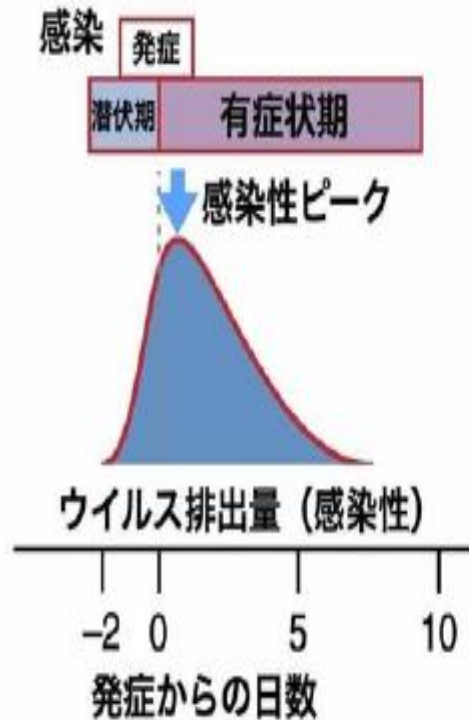
発熱・咳・呼吸困難等の急性の呼吸器症状など新型コロナウイルス感染症を疑う症状が出現した2日程度前（無症状の時）から感染します。 * 発症の前が最もウイルスが多く排出されます。



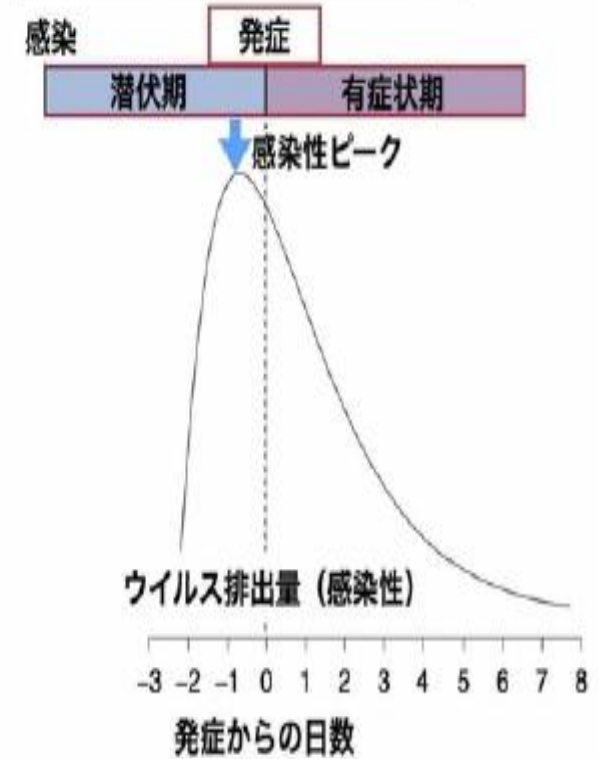
新型コロナウイルスの感染力について

インフルエンザと比較すると、発症の前日が感染力が最も高く、発病後次第に低下します。

季節性インフルエンザ



新型コロナウイルス感染症



感染の仕方

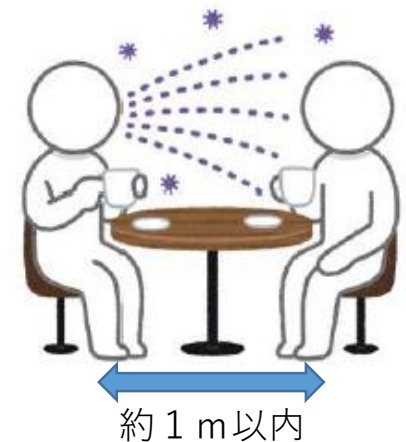
飛沫感染、接触感染で感染します。

(季節性インフルエンザと同じです)

①飛沫感染

感染者の飛沫（くしゃみ、咳、つばなど）と一緒にウイルスが放出され、他の方がそのウイルスを口や鼻などから吸い込んで感染します。（咳1～2m くしゃみ5～6m飛散）

※換気が不十分で、狭い空間などでは、比較的長い時間ウイルスが空気中に漂うことがあると言われています。



②接触感染

*** 人から人へ最も多い感染経路です**

感染者がくしゃみや咳を手で押さえた後、その手で周りの物に触れるとウイルスがつきます。他の人がそれを触るとウイルスが手に付着し、その手で目や口や鼻を触ると粘膜から感染します。

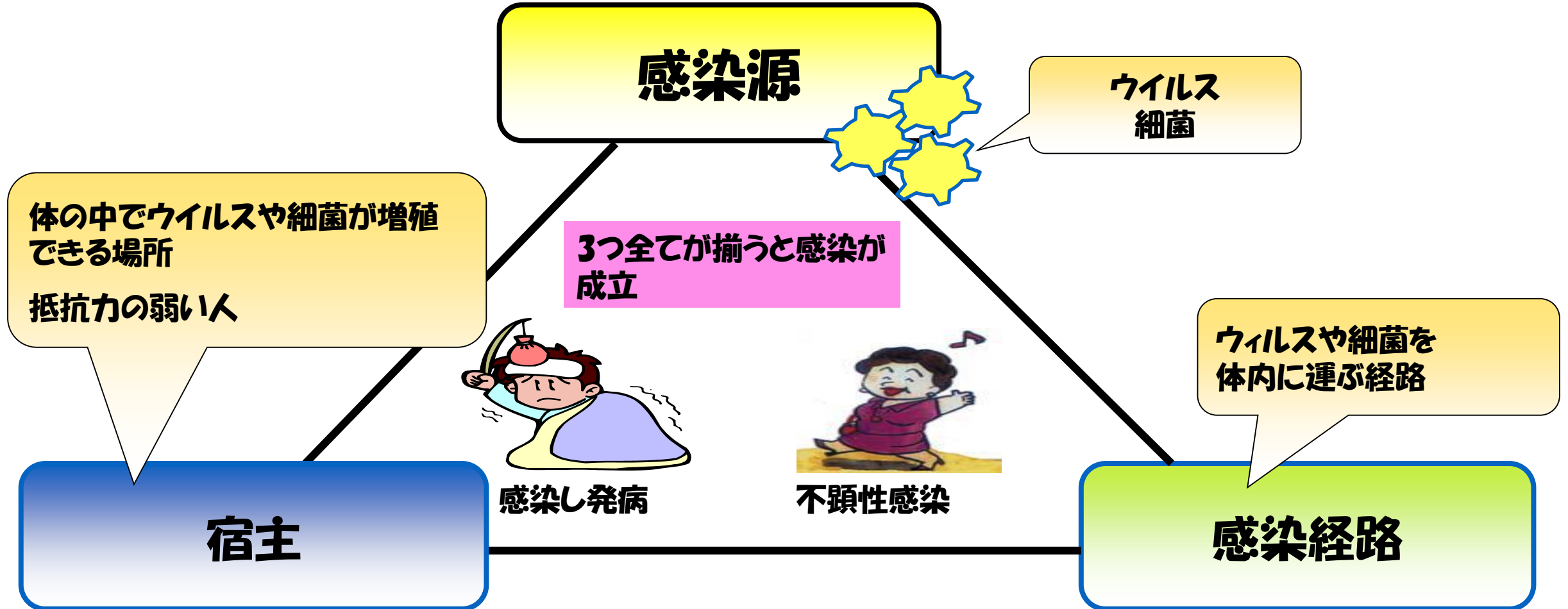
直接接触：握手、抱っこ

間接接触：ドアノブ、手すり、蛇口、おもちゃなど

健康な皮膚に付着しただけでは、ウイルスは皮膚から体内には入りません。



まずは知ろう！感染のしくみ



施設での感染対策の基本の「き」

(1) もちこまない

(2) 広げない

(3) もちださない



(1) もちこまない

①職員と利用者ともに「施設に入る前」の健康チェック

- 咳や熱以外の軽い症状（鼻水、倦怠感など）も見落とさない
- 見落としをみんなで防ぐ（チェック表などを活用）
- 職員間や利用者の家族との情報共有

②利用前、ケア前の手洗い、手指消毒、マスクの着用の確認

- 手洗いは「感染対策の基本」です！

まずは、流水で10秒もみあらい、30秒以上洗い流す

手洗いのできないときはアルコール消毒（1プッシュで回3ml）

指先、指の間、手首までしっかりとすりこみ⇒最後に手洗いを！

- 手洗いの5つのタイミングを逃さない

外から帰った時（送迎車内に乗降の前後）、咳やくしゃみ、鼻をかんだ後、食事の前後、ものを触ったとき、ケアの前後

(2) 拡げない

① 咳エチケットと正しいマスクの着用

- ・咳が出なくても、マスクをつける⇒マスクの種類にも注意
- ・咳やくしゃみが出るときは、口を手で覆い、人のいない方向を向けてする習慣を。
- ・くしゃみやせき，鼻水をふいた後はすぐに手を洗う

② 感染させにくい環境づくり

● 室内の定期的な換気，

窓は2方向開けて換気しましょう

窓が1つしかない場合は、換気扇、扇風機などで換気の流れをつくる

● こまめな環境消毒、そして1日1回は、適切な消毒薬でウイルスをリセット

- ・利用者や職員がよく触る場所（手すりや壁面，事務所のパソコンなど）
- ・行動や身長などにあわせた消毒場所、消毒回数を決めましょう

● ポスターやマーク，鏡などの視覚的な媒体を取り入れて感染予防 手洗い、咳エチケット、人との距離などの習慣をつける

(3) もちださない

①人から人へ

- ・1ケア1手洗い、手袋、マスクの着用で「うつさない」準備を
- ・利用者がマスクをはずしているとき（食事の介助、口腔ケア入浴時など）のケア時は特に注意
- ・飛沫を浴びにくい場所（斜め後ろなど）から介助する
（必要時はエプロン、ゴーグル、フェースシールドを着用）

②人から物へ

- ・手袋，エプロンなどは外す時に汚染を拡げやすいので、外側に触れないように外す。
- ・汚染されたものを触らないように、蓋つきのゴミ箱へ
- ・次のものに触る前に、手洗い、手指消毒を忘れずに！

手洗いの手順

チェック

爪は、短く切っていますか
時計や指輪は、はずしていますか

①手のひら



②手の甲



③指先・ツメの間



④指の間



⑤親指と手のひら



⑥手首



ウイルスの除去について

○手についたウイルス

- ・石鹼による手洗いで除去（十分な水洗いが大切）
- ・アルコール消毒薬（約70~80%）による消毒

○物についたウイルス

消毒薬による拭き取りで除去

- ・アルコール消毒薬（約70~80%）
- ・次亜塩素酸ナトリウム溶液（キッチンハイター等）の希釈液（0.05%）



次亜塩素酸ナトリウム溶液の作り方

(次亜塩素酸ナトリウム 5～6% の原液を使った場合)
ペットボトルのキャップ 1 杯は約 5 ml

	作り方
約0.05% 次亜塩素酸 ナトリウム	500ml = 水 + 原液5ml (ペットボトルキャップ1杯)  + 



石けんやハンドソープを使った
丁寧な手洗いを行ってください。



手洗いを丁寧に行うことで、
十分にウイルスを除去できます。
さらにアルコール消毒液を
使用する必要はありません。

手洗い		残存ウイルス
手洗いなし		約 100 万个
石けんや ハンドソープで 10 秒もみ洗い後 流水で 15 秒すすぐ	1 回	約 0.01% (数百個)
	2 回 繰り返す	約 0.0001% (数个)

(森功次他：感染症学雑誌、80:496-500,2006 から作成)



『神戸市感染症統合情報システム』 ポータルサイト開始のお知らせ

BE KOBE

市内のインフルエンザや感染症・胃腸炎などの発生状況を
知って、より早く感染を予防しましょう！



2019年4月
スタート

医療機関や市内の学校・園からの報告をもとに、
表・グラフ・マップなどで様々な統計情報を確認できます。

『神戸市感染症統合情報システム』で検索！

神戸市感染症統合情報システム



感染症の予防を心がけましょう！

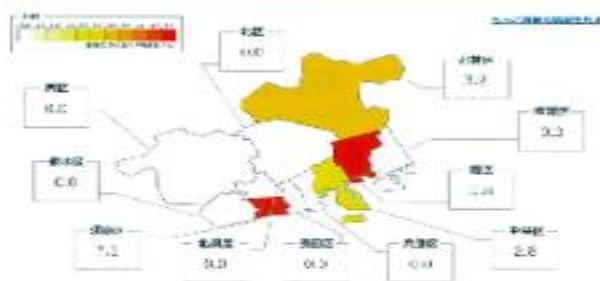
学級閉鎖状況の確認

地域の発生状況連絡表をもとに、地域別に流行状況をマップで確認できます。



感染症発生状況の確認

過去の流行状況を色の濃淡で確認したり、グラフで過去の流行状況と比較もできます。



感染症の発生動向調査

前週比や前年比を矢印で表現することにより、発生動向を一目で確認できます。

疾病名	中央値からの割合	前週比	前年比	注釈
流行	0.23	↑ (0.19)	↓ (0.32)	
流行	0.10	↑ (0.08)	↑ (0.10)	
流行	0.35	↑ (0.32)	↓ (0.32)	
流行	0.00	↑ (0.00)	↑ (0.00)	



市内の感染症の発生をより早くキャッチしていただき、
感染症の予防・拡大防止に繋げていただけることが期待できます。

神戸市保健所 予防衛生課 結核・感染症係

感染症早期探知・地域連携 (神戸モデル) を活用！！

- ・ 平常時から地域で流行している感染症に敏感になってください。
 - 神戸市感染症発生動向調査 週報・月報
 - [神戸市感染症統合情報システム](#) 検索
 - 各区感染症メーリングリスト登録で季節ごとの最新情報入手
- ・ 「**感染症かもしれない??**」で連絡票を送付
 - 下痢・嘔吐・腹痛・発熱などの症状があるときは感染症を疑う。
 - 「神戸モデルー早期探知地域連携システム」
感染症・食中毒 疑い発生状況連絡票を送ってください。
 - ◎ 感染症担当保健師がご連絡し一緒に
感染症拡大防止対策を検討します。